

てく Take ちゅう Walking 44

『お仕事拝見！』

今回は地下鉄西28丁目駅より徒歩5分、就労継続支援B型「SAN-EEN」にお邪魔してきました。

SAN-EENは、放課後等デイサービスなどを運営されている渡邊代表、二峰代表が、子どもたちの支援をしているなかで受けた「卒業したあとの就職先がない、将来が不安」といった保護者の方の声にこたえる形で、平成25年4月に設立されました。知的障がいや発達障がいの方など様々な利用者があり、現在、20代から50代の利用者が登録されています。

「SAN-EEN」という名前には、「家庭」「職場」「地域」という3つの円（縁）を大切にするという想いが込められています。

1 事業所の特徴について

SAN-EENでは、「Coffeeサンエン」を運営しており、自家栽培の無農薬野菜を使った菓膳カレーやカレーパン、オリジナルブレンドコーヒーなどを提供しているほか、北海道らしさにあふれたオリジナル雑貨（ENZYというエソシカ、エソフクロウ、エソリスの心を持ったオリジナルキャラクターがプリントされている商品もあります。HPをチェック）や、カレーにも使用されている北の沢の畑で栽培された

各種野菜の販売などを行っています。利用者はカフェの準備や清掃、調理補助（カレーの仕込みや製パン、コーヒーのドリッピングなど）や接客などを行っています。また、夏は北の沢の畑で実際に野菜づくりにも携わっているほか、ポスティングや梱包作業などの委託業務も行っていきます。

2 「家庭」「職場」「地域」の3つの円（縁）

SAN-EENにおいては、技術や能力を磨くことだけではなく、基本的な生活習慣上の課題解決や、利用者それぞれの自己表現の力を伸ばすことを大切にしており、スタッフがひとりひとりの性格を知った上で細やかにサポートし、応援するように心がけています。また、花見や雪祭りの参加、初詣など季節のイベントも行ったたりしながら、「職場」のつながりを深め、「明日も行きたい」と思える雰囲気づくりや、利用者同士やスタッフとの話しやすく、相談しやすい関係づくりが日々行われています。

また、利用者の業務の中には、テナントやビル共用部の清掃業務、カフェ近隣の除雪作業、夏には道庁赤れんが庁舎前庭で期間限定のショップを出店してスタッフと利用者が販売を行ったりするイベントなどもあり、夏に畑で野菜づくりを行ったりすることを含めると、SAN-EENの業務は、事業所の外への広がりがあり、利用者や「地域」のつながりを深める取り組みが多いように感じられました。また、利用者が提供するカレーなどをご家族の方



海外の観光客に向けたイベントに出店した際の夜間の営業時の様子です

がお店に食べに来たり、利用者が作った野菜をご家族がお店に買いに来たり、利用者自身がご家族に野菜を買って帰ったりすることなどもあるそうです。SAN-EENは、利用者や「家族」とのつながりを形づくる場としても、大切な役割を担っているという印象を受けました。利用者の中には、イラストを書くのが得意な方がいらっしや、カフェ内で個展を開催したところ、その利用者の学生時代の恩師や前の職場の友達なども見に来てくれたこともあったそうです。最後に、事業所のPRポイントをお伺いしました。「SAN-EENでは、スタッフ一人ひとりが利用者」と向き合いながら、仕事を通じて達成感や自信を得、この場所で仲間をもつことができるように、そして、地域の中に包み込まれて支え合いながら働き、自立していけるように、きめ細やかに支援をしていきたいと思っています。体験、見学のご希望がありましたら、左記連絡先までお気軽にご連絡ください」



「就労支援カフェ」にて、利用者さんが得意なイラストを生かして、看板を描いているところです。

〈連絡先〉064-0826 札幌市中央区北6条西27丁目1-260101
就労継続支援B型 SAN-EEN
電話 011-699-5599
HP <https://san-en.localinfo.jp/>
【食事のみ要予約。喫茶メニューは通し営業】